

# オオタバコガ情報第2号（野菜類・花き類（キク等））

令和8年6月16日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

**多くの地点でフェロモントラップ誘殺数が多い～やや多い！**

**ほ場をよく観察し、発生を確認したら防除しましょう！**

## 1 フェロモントラップにおけるオオタバコガ成虫の誘殺状況

県内6地点（※）に設置したフェロモントラップのうち、4地点で直近1か月の総誘殺数が多い～やや多い状況です（次ページ図）。

（※6月現在調査中で過去比較が可能なトラップ地点）

- ・稲沢市（キクほ場）では244頭（平年52頭、前年88頭）と過去10年間と比較して**最も多い**。
- ・豊川市（キクほ場）では154頭（平年70頭、前年173頭）と過去10年間と比較して2番目に多い。
- ・西尾市（水稻、ムギほ場周辺）では232頭（平均104頭、前年212頭）と過去10年間と比較して2番目に多い。
- ・碧南市（ニンジンほ場）では357頭（平年197頭、前年349頭）と過去10年間と比較して3番目に多い。

## 2 今後の見込みと防除対策

6月11日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いと見込まれており、**今後、発生量がさらに増加する可能性**があります。

茎、花蕾、果実及びキャベツ等の結球部に食入した幼虫や、発育が進んだ幼虫には薬剤の効果が低下するため、若齢幼虫のうちに薬剤防除しましょう。

なお、薬剤感受性の低下を防ぐため、同じIRACコードの薬剤は連用しないようにしましょう。また、農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。

登録のある農薬については、農林水産省「農薬登録情報提供システム」

(<https://pesticide.maff.go.jp/>) を参照してください。

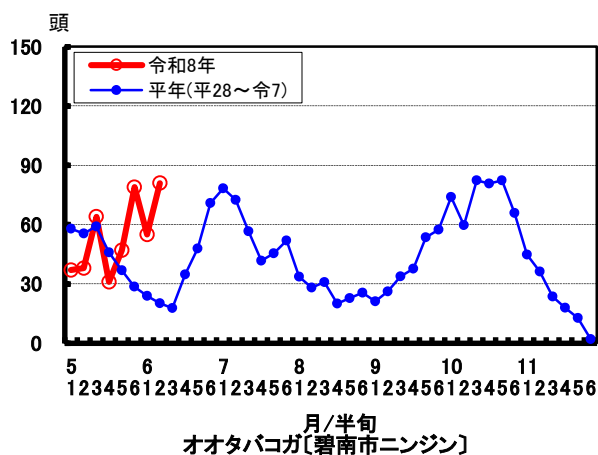
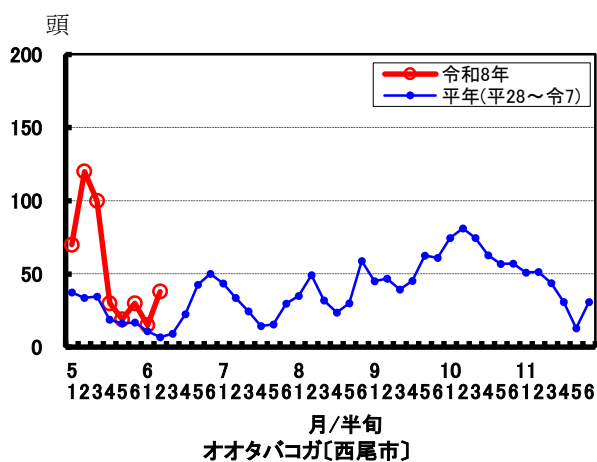
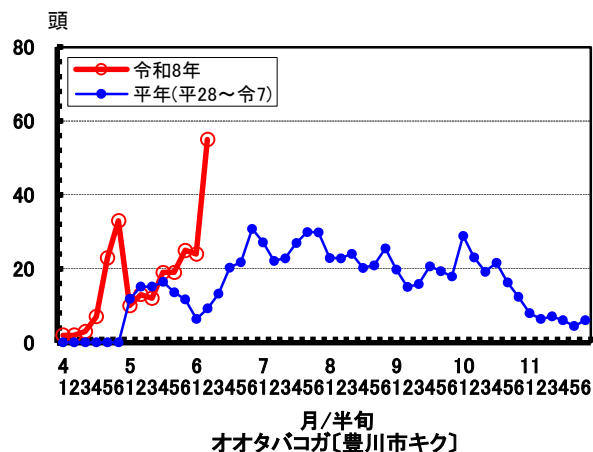
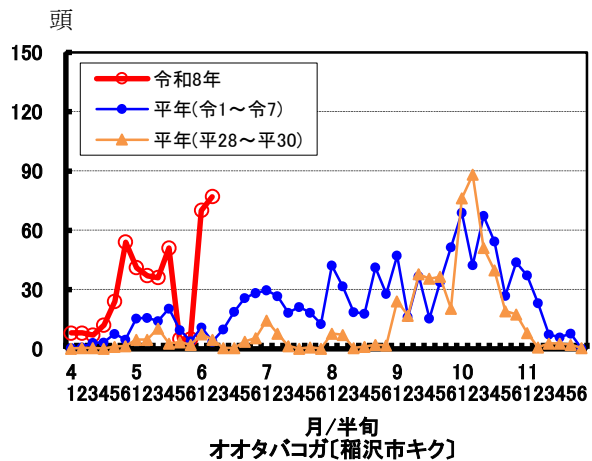


図 フェロモントラップにおけるオオタバコガ成虫の誘殺状況